

事業計画書

事業名	〃跡部の踊り念仏、の保存・伝承事業	
重点テーマへの該当	有 テーマを記載	
	無	
実施箇所	跡部老人憩いの家、 西方寺	
実施期間	事業開始予定年月日	令和2年 4月 1日
	事業終了予定年月日	令和3年 1月 31日
事業概要	<p><事業の目的> 佐久市跡部区には、国の「重要無形民俗文化財」〃跡部の踊り念仏、が741年にわたって伝承されてきています。この文化財は文化庁の分類で「風流(ふりゅう)」グループに分類されていますが、目下、「風流」グループに属している全国の保存会が、グループ全体として「ユネスコ無形文化遺産登録」を目指しています。実現しますと、「風流」グループに属す日本の重要無形民俗文化財が世界的に認められることとなります。</p> <p>このような動きの中、跡部踊り念仏保存会としては、一遍上人ゆかりの文化財〃跡部の踊り念仏、を更に充実させ、広域的な保存・伝承活動を実施していきます。</p>	
	<p><事業の内容></p> <p>1. 小学生向け教材の作成と学習会の開催 小学生向けに〃跡部の踊り念仏、パンフレット(3ページ)を作成し、跡部区の夏休み子供踊り念仏の会で、〃跡部の踊り念仏、について学習し実体験をする。 小学生の関心をより深め、将来の伝承者育成に繋げたい。</p> <p>2. 中学生向け教材の作成 野沢中学校の授業の体験学習の一つに〃跡部の踊り念仏、があるが、そこで使う中学生向けのパンフレット(5ページ)を作成し、郷土の歴史や伝統文化について学習してもらい、広域での関心を高め後継者育成に繋げたい。</p> <p>3. 冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版の作成 「ユネスコ無形文化遺産登録」の申請に対応していくため、冊子『跡部の踊り念仏』をリニューアルしたい。平成26年以降、区内で新史料が発見されたり、不明だった箇所が判明してきており、ここで、リニューアルしたい。</p> <p>4. 冊子リニューアル版を使った学習会の開催 令和2年9月、11月、令和3年1月の3回、実施予定。2回目の11月は跡部区以外にも呼びかけ、〃跡部の踊り念仏、の認識を広域で高めていきたい。</p>	
	<p><達成目標></p> <p>・踊り念仏伝承者の増員 : 目標年度 令和2年 対令和1年比 20%増 ・踊り念仏定例公演参加者の増加 : 目標年度 令和3年 対令和2年比 20%増</p>	
	<p><広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）></p> <p>・〃跡部の踊り念仏、の小学生向け教材、中学生向け教材、及び冊子『跡部の踊り念仏』の巻末に、「佐久市まちづくり活動支援金事業である」の文言を記載する。</p>	
	<p><重点テーマに該当する場合 該当する理由(アピール) ></p>	

年間計画	4月	(新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、4月5日に予定していた「跡部の踊り念仏」定例公演は7月以降に延期する。) 保存会役員会
	5月	小学生向け教材「跡部の踊り念仏」、パンフレット、原稿作成開始 冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版、原稿作成開始
	6月	中学生向け教材「跡部の踊り念仏」、パンフレット、原稿作成開始
	7月	定例公演前の練習 (於: 跡部老人憩いの家、西方寺) 定例公演 (於: 西方寺) 保存会役員・青少年育成会・小学校PTA合同会議 ＜夏休み子供踊り念仏の会、打合せ＞
	8月	夏休み子供踊り念仏の会 (於: 跡部老人憩いの家) 小学生向けパンフレットを使った学習会と練習、保存会伝承者練習
	9月	冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版を使った学習会 <跡部区民> (於: 跡部老人憩いの家)
	10月	野沢中学校「跡部の踊り念仏」、体験学習会への対応(於: 跡部老人憩いの家) 中学生向けパンフレットを使った学習会と実体験
	11月	冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版を使った学習会 ＜佐久市民への呼びかけ＞ (於: 跡部老人憩いの家)
	12月	保存会役員会
1月	保存会総会 学習会	

<p>地域や社会にどのような利益がもたらされるか</p>	<p><「公益性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版を、文化庁、「風流」グループに属する全国37の保存団体、長野県、佐久地域振興局、佐久市関係部課・学校関係・図書館、佐久地区市町村、跡部区全戸、などに提出することにより、この文化財、佐久市、跡部区について、広域での知名度が向上する。 ・小学生・中学生向けの教材を作成し、学習会・体験会を実施することにより、跡部区の生徒、野沢地区の生徒、PTA関係の皆さんに、「ユネスコ無形文化遺産登録」を目指す国の重要無形文化財が地元にあるという誇りを持ってもらえる。
<p>どのような点に独自性や工夫があるか</p>	<p><「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生向け教材を使った学習会・体験会を通じて、生徒たちの父兄・家族に“跡部の踊り念仏”の認識が深まり、伝承活動に参加しようとする人材が生まれる。 ・地域の小・中学生に子どもの時に“跡部の踊り念仏”を学習・体験しておいてもらい、将来の伝承者候補として期待したい。
<p>市内へどのように取組が波及していくことが見込まれるか</p>	<p><「波及効果」や「発展性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子のリニューアル版を使った学習会3回のうち、1回は市民に呼びかけて開催するが、市民の中に、「ユネスコ無形文化遺産登録」を目指す国の重要無形民俗文化財が佐久市に伝承されてきているという認識が深まる。 ・“跡部の踊り念仏”以外の佐久市に存在する文化財に対しても市民の関心が高まり、市民の中に、文化を見直す意識が深まる。
<p>活動を継続するためにどう取り組むか</p>	<p><「自立性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業を実施していくことで、伝承者の増員を図っていく。 ・伝承者自身から、クチコミで伝承活動の楽しさを伝え、伝承者の仲間を増やしていく。 ・冊子のリニューアル版を使った学習会を通じて、保存会役員の意識をより高め、充実した保存・伝承活動を継続していく。 ・小学生・中学生へ向けてのこの事業を実施し、将来の伝承者に繋がる努力をしていく。(実例として、10年前に小学生で踊り念仏を体験した女性が高校・大学生の時、伝承活動に参加してくれた。)
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでと同様、4月の定例公演を継続していく。 ・夏休み子供踊り念仏の会を継続して実施し、PTA、高齢者にも呼びかけ、交流を深めていく。 ・野沢中学校以外から「体験学習」の要請があった場合も、応じていく。 ・地域以外からの公演依頼に対して、できる限り応えていく。
<p>事業の最終目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この文化財の永久的な保存・伝承活動を続ける。 ・「ユネスコ無形文化遺産登録」実現後、その意義を有効活用し、“跡部の踊り念仏”の永久保存と地域の活性化を図る。

特記事項